

平成 18 年度 栃木の子どもの学力向上を図る学習指導プラン

確かな学力を育むために

【小学校・算数科】



平成 19 年 1 月

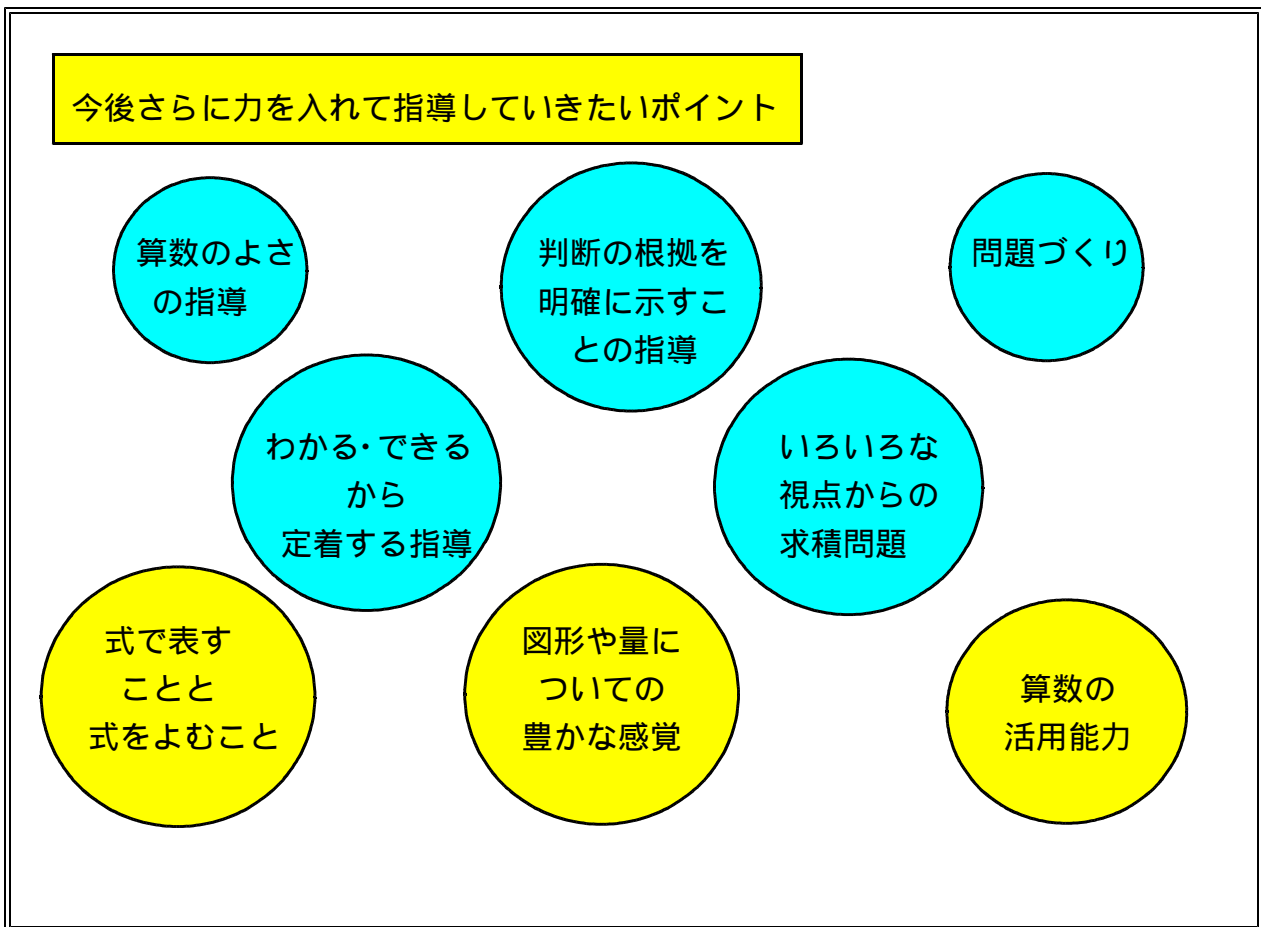
栃木県総合教育センター

本県では、児童生徒の学習状況を把握するため、昭和 47 年度から「学力水準調査」を、平成 7 年度からは「学習状況調査」を実施してきました。また、全国の状況と比較するため、平成 14 年度、平成 16 年度には「教育課程実施状況調査」を実施しました。

これらの調査のうち、主に「学習状況調査」と「教育課程実施状況調査」の結果を再度分析し、学習指導の充実・改善を図るためのポイントを教科ごとにまとめました。

各学校でご活用いただき、「確かな学力」を育むための学習指導の充実・改善にお役立てください。

これまでの調査結果から、今後さらに力を入れて指導していきたいポイントは以下の通りです。これらは、平成17年度に3回シリーズで発行した「栃木の子どもの学力向上を図る授業改善プラン」でも提案しましたが、今回は、「式で表すことと式をよむこと」「図形や量についての豊かな感覚」「算数の活用能力」の三点について示します。



式で表すことと式をよむことを重視しましょう

- 1 低学年から演算決定の場面をしっかりと理解させましょう . . . P 3
- 2 乗法と除法の場合には、三つの演算決定の場面を想定しましょう . P 6
- 3 式から場面を考えるようにしましょう P 7
- 4 問題づくりを積極的に取り入れましょう P 8

図形や量についての豊かな感覚を培いましょう

- 1 図形についての経験を豊かにしましょう P 11
- 2 日常的なことから量感を培いましょう P 13

算数の活用能力を培いましょう

- 算数の活用能力を培いましょう P 15